

## 児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2020年 2月 8日

事業所名 こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 広島大町校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		ほとんどの教室が個室で落ち着いて支援に取り組めます。	密室化してしまうので、手の空いた職員が適宜支援の見学を行っています。
	②	職員の配置数は適切である	○		支援の内容によっては担当指導員を変えて対応しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		事業所がエレベーターのない建物の2階に位置していますので、バリアフリーにはなっていません。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		利用者様の特性に配慮して部屋を使い分けています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		毎年行わせていただいています。	
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページにて掲載しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		第三者による外部評価は行っていませんので検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に行われる社内研修だけでなく、外部研修にも積極的に参加しています。	
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		適宜モニタリングやケース会議を行い作成しています。	

支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			必要に応じて専門機関との連携を検討します。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		子どもの状況や保護者の困りごとに合わせた支援内容を設定しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		基本的には職員全体で話し合っています。	もう少しこまめに話し合いの場を設け、プログラムの立案に力を入れたいと思います。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		月に1度集団療育も踏まえた個別支援計画を作成しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○		現在行えていない状況ですので、今後は取り組んでいこうと思います。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		現在行えていない状況ですので、今後は取り組んでいこうと思います。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		その日のうちに記録を書くようにしています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		適宜必要に応じてモニタリングを行っています。	
関係機関や保護	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		基本的には児童発達支援管理責任者が参加しております。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		現在行えていない状況ですので、今後は取り組んでいこうと思います。

者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○		
	㉑	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○		
	㉒	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		現在行えていない状況ですので、今後は取り組んでいこうと思います。
	㉓	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		来年の就学に向けて取り組んでいこうと思います。
	㉔	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○		現在行えていない状況ですので、今後は取り組んでいこうと思います。
	㉕	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○		集団療育の日を活用し、積極的に行っていければと考えています。
保護者への説明責	㉖	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子どもの子育て会議等へ積極的に参加している		○		現在行えていない状況ですので、今後は取り組んでいこうと思います。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々フィードバックを行い情報共有し、共通理解を得ています。	
	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○		現在行えていない状況ですので、今後は取り組んでいこうと思います。
	㉙	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約の際に説明を行い、変更があれば適宜説明を行っています。	
	㉚	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		個別支援計画の更新の際にはきちんと説明を行い、同意を得ています。	

任 等	③4	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		必要に応じて保護者の方と面談を行っています。	
	③5	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		現在行えていない状況ですので、今後は取り組んでいこうと思います。
	③6	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		適宜対応しています。	
	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		集団療育の案内を紙面で配布したり、ネットでブログやLINE@を配信したりしています。	
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		契約時には書面で説明し、書類は鍵付きのロッカーで保管しています。	
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		分かりやすい言葉や手段を意識しています。	
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		地域に向けた取り組みが行えていないので今後は検討していこうと思います。
非 常 時 等 の 対 応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		定期的に研修を行い、職員の周知徹底を行っています。	
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月防災訓練を行っています。	
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		契約時に聞き取りを行い、その後もこまめに聞くようにしています。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		アレルギーの利用者さんがいません。	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		現在行えていない状況ですので、今後は取り

				組んでいこうと思います。
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		定期的に研修を行い、職員の周知徹底を行っています。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		身体拘束の必要な利用者さんはいませんが、利用された際には取り組みたいと思います。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2020年2月8日

事業所名：こどもサポート教室「クラ・ゼミ」広島大町校 保護者等数（児童数）：2 回収数：2 割合：100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	0	0	0		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	2	0	0	0		
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	1	1	0	0		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	2	0	0	0		
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	2	0	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	0	0	0		
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2	0	0	0		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	1	1	0	0		
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	1	1		
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	2	0	0	0		
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	2	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	0	2	0	0		

	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	2	0	0	0		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	2	0	0	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	0	1	1		
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2	0	0	0		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	2	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	1	1	0	0		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	2	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	1	1	0	0		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0	1	0	1		
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	2	0	0	0		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	2	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。